

令和6年度 第3回堺市東区政策会議 議事要旨

開催日時 令和7年2月12日（水） 午後2時00分から午後3時45分まで
開催場所 東区役所2階 203会議室
出席構成員 池崎守、金牧かおり、川上浩、北井道子、小西貢、城岡キヌ子、高落俊次、
高木悠里、辻有理、林聡子、松島亮次、森田法子、山本美奈子、渡士晶子
（以上14名）（50音順）
参考人 藤田勝之氏（堺市東区政策会議開催要綱第7条に基づく関係者として招致）
事務局職員 東区役所 三井区長、近藤副区長、水谷東保健福祉総合センター所長、
新田企画総務課長、船津自治推進課長
企画総務課 武田課長補佐、井上企画係長、大野主査、植田、酒井
傍聴 傍聴人 2名

案件 1 開会
2 議題 次期東区基本計画の策定について
3 閉会

配付資料 資料1 令和6年度第3回堺市東区政策会議 座席表
資料2 （仮称）堺市東区基本計画 骨子（案）
資料2別紙 方針の整理について

【会議内容概要】

1 開会

配布資料の確認後、本会議が公開であること、傍聴者が2名であることを報告。

また、5名の欠席を報告。

なお、藤田氏の出席については、東区区民会議の委員を務められ、東区わくわく散策マップの制作にあたりご尽力いただいたこと、東区わくわく散策マップがこの政策会議での取組を含め、東区での地域魅力発信に広く活用されていることを事由として出席いただいていることを報告。

2 議題

次期東区基本計画の策定について

資料2に基づき、（仮称）堺市東区基本計画骨子（案）の概要について説明、報告した。

【各構成員発言要旨】

- （座）藤田様を改めてご紹介したい。区民会議が作成したわくわく散策マップの中心人物でいらっしゃる。東区のまちづくりについては、我々住民の声を拾っていただいたうえで区役所に政策立案を担っていただき、我々住民も共に行動していこうということで区民会議の活動が始まった。その中で東区の歴史文化を発掘しようということから、まずは東区内を歩く（散策）マップを作ろうということになった。3年がかりで作成した中心人物が藤田様。藤田様には、自己紹介もかねてご発言していただきたいと思うが、いかがか。

【全員了承】

- 平成21年から区民会議に関わらせていただいた。当時、散歩していても自分の校区のことを知らない住民がいたことから、東区全9校区を散策できるマップを作ろうということで、はじめは私が9校区を回って情報収集した。資料収集に1年半を要したが、マップの試作品を検証したところ区内全9校区を巡るのはさすがに距離も長く、改めて6ブロックに分けて私案を作成し、これを基に区民会議の皆さんで検証していただきながらマップを完成させた。このマップを持って歩いている方もよく見かけるし、自分が白鷺公園ルートを歩いているときにマップを大きくした掲示板を発見した時はとても嬉しかった。
- （座）藤田様には、この会議中には発言していただこうと考えている。区民会議は、区民評議会そしてこの政策会議へと変遷していった。区民会議では藤田氏には大変お世話になった。この散策マップに添付されているクイズラリーの表紙右下にある「笑顔といっしょにありがとう」のマークは、ありがとうの気持ちで活動しようという区民活動をコンセプトに制作した。
- （座）議題に移る。次期東区基本計画の策定について、事務局から計画の骨子案の提示があったので説明を求む。
- （事）計画の骨子案の説明の前に、前回会議での報告について2項目について申し上げる。
まずアンケート結果の詳細については今回会議で報告すると申し上げたが、作業遅延のため3月の会議で対応したいのでご容赦いただきたい。
2点目に、和歌山大学の佐久間教授に当計画のご助力をいただく件についてはご快諾いただいた。今後の会議へのご出席含めご協力いただく。
では、資料2、（仮称）次期東区基本計画骨子（案）の内容について順に説明する。
（資料2記載の事項、資料2別紙の方針の整理について、順に説明。）
皆様におかれては、資料2の右半分、計画のベースとなる考え方、また東区のめざす将来像に記載の表現方法や取組のご提案など忌憚のないご意見をいただきたい。
最後に、骨子案の作成にあたっての考え方や想いについて三井区長から発言させていただく。
- （区）計画のベースとなる考え方（資料2）についてお伝えしたい。まず一つに、区長としての2年の間、区内各地域での活動に参加させていただく中で一番に思ったことは、皆さんの人と人のつながりが力となって課題の解決や魅力づくりを実践されていること。この「つながりの力」というのはどこの地域にもあるものではないと思っており、東区にはこの力が皆さんの住みよいまちづくりに貢献している、この価値観を区民の皆さまと共有したいとの想いで計

画のベースとした。

また区民アンケートの「落ち着いた街並み」の回答にもあるように、私も居心地の良いまちだと感じており、その理由を考えるに治安の良さや水・緑環境、災害への不安の少なさなどいろんな要素が重なって心地よさを醸し出していると考えている。この一つ一つの要素を生み出しているのが地域の皆さんの活動であり地域で受け継がれている価値観、まさに文化といえるのではないかと考えている。このことから、計画のベースとなる二つ目の考え方を「東区の特徴ある文化を活かす」とした。

次に、めざす将来像のキーワードのうち、特に「そだてる」については、地域の方々から伺う「こどもたちのことを想う気持ちの強さ」、また小中学校の校長先生との会話から「地域の支えがあってこそこどもたちのより良い学びがある」のだと実感している。

地域の皆さまにとって、こどもというのは宝であり未来への夢ではないかと思っていることから、夢をはぐくむと表記したのは大人たちの夢に加え「こどもの夢をはぐくむ」の意味を込めた。

「まちをそだてる」としたのは、広く教育環境を整備するという観点で、こどもたちとのかかわりの中で地域の皆さまが先生となってこどもたちに教え、また子育てを応援されておられる中で高齢者の皆さまもかかわっていただき、みんなが活躍するという意味を込めた。「まもる」、「そだてる」、「たかめる」の3つのキーワードで相乗効果を生み出しながら将来像である住んでみたい、住み続けたいまちを実現していきたい。

東区の基本計画については、区民の皆さまとまちづくりの想いを共有できるツールとしてこの案を作成したので、皆さまから忌憚のないご意見を頂戴したいと考えている。

- （座）この基本計画骨子案について区長に想いを発言していただいた。一般的なまちづくりビジョンは、あらゆる分野にふれながら策定していることが多いが、東区では今回、重点ポイントを定め、計画の骨子として肉付けを進めていくことを提案していただいた。

東区に引っ越してこられた住民からは、落ち着いたまちだとよく聞く。この落ち着いたまちとはどういうことかと考えるにアンケート結果にも出ているが、安心して住めることかと思う。人のつながりの効果が現れていると思う。

- 東区に住んで18年だが、やはり安全で地域のつながりもしっかりとあって、こどもたちも安心して生活している。地域のつながりがあるからと思う。
- 計画のベースとなる考え方に「つながりの力」とあるが、東区は農耕の歴史がある。皆が力を合わせないと続かなかった、そんな姿が続いていると思う。ただ、これからは田畑も少なくなって、つながりも薄れていくのではないかと危惧している。よって、別の姿でのつながりが必要で、そのための施策が必要だ。区長の発言にあったように相乗効果、好循環が求められる。
- （座）ため池も元々は農耕に必要な場所だったが、白鷺校区ではため池で人のつながりを作ろうとされている。東区内を見ると昔からの住民よりも新たに住まわれる方々が増えている。その方々が地域活動に協力していただいているので、このつながりを継続していきたい。
- 「住み続けたいまち」の表現がよい。記載されている水緑を活かしたコミュニティはよしと

して、水緑の環境を守るための努力が必要。農地についても代が替わると作農しなくなっている。農業委員会の冊子を見ると、「農地貸します」の記事が出ている。農地の活用は大切で、行政には楽しんで農作業ができる施策を進めてほしい。それが水緑を守ることになる。

- （座）事務局から紹介があった和歌山大学学長補佐の佐久間教授と本日ご出席の高木先生には、今後、この地の水緑についての都市計画上の観点から社会実装のご意見をいただきたい。
- 行政計画の策定に際し、農地計画を含めるとの法改正（農業経営基盤強化促進法）があった。これは区役所レベルのことではなく堺市としての対応ではあるが、東区としては実際に農業を担われている方との繋ぎをするということをこの計画に含めてもよいのでは。
- 農地を残すということについても、農地を所有されている方の土地を守るご苦労もあることから、所有者（地権者）の意向を推し量りながら東区のまち全体がどうあるべきかなど先生方のご意見もいただきながら進めてはどうか。
- 開発とのバランスもある。難しいことだが、人が集まらなるとまちは衰退する。
- このビジョン、なかなか良いと思う。ここでは1行ずつ書かれているが、例えば喋りながらウォーキングしてその場にあるものごとを知ることで歴史文化だけでなく健康にもつながる。ひとつずつ対応するのではなくそれぞれの項目がつながるように作っていけばよいと思う。
- 「このまちは良いな」と思うためには、まず知ることが大切。そして知らせていくことでこのまちが良いと思う人がもっと良くしたいと思うようになる。そして活動につながっていくと思うので、正のスパイラルで進めていけばよい。まちづくりは人づくりだ。
- わくわく散策マップも知る楽しみがある。そこから好きなまちになった。
- 堺市全体の人口が減っている中で微増ではあるが東区の人口は増えている。東区に良いところがあるから転居されてこられたとっていて、学校教育が評価されていると思う。この教育をもっと伸ばしてほしい。東区には単身者でなく、世帯の皆さんが転居してくるのもこどもを育てる環境があるからなので、学校教育に注力してほしい。
- 東区の学校のすばらしさをぜひとも全学校長に知ってほしい。
- 昨日、収益を地域のこどもたちのために使うバザーに参加した。出品する物を地域の皆さんから無償で提供していただいたが、たくさんの出品数になった。地域の皆さんが労い問わず協力されていることに、これも地域性だと思った。地域のため・こどもたちのために協力するという地域性が確認できる。
- 校区自治連合会の防災訓練に小学生たち全員が地域の皆さんと一緒にあって楽しみながら参加していた。いざというときは助ける側になるという大人の話も真剣に聞いていた。つながるということについては防犯、防災も子育てについてもこどもたちに耳を向けてもらうため、意識して大人たちも対応することが大切だと思った。
- 防災訓練の話が出たので校区の中学校の防災訓練の時に区長が見学に来られた。町会の皆さんが「今日も区長さんが来られてる」と親しみを持って言っているのを聞いていて、出向いていただいているからしっかり見てくれているんだと思った。
- 地元の小学校の校長先生が「ここの地域の皆さんは、学校行事の田植えや餅つき、芋ほりに

いつも地域の皆さんが参加されていて、他とは違う」と常におっしゃっていて、この前もジャガイモ掘りの時に2年生が寄ってきたが、ほかの地域では見られない光景だと思った。

- 東区の地域は学校とのつながりが強い。
- それぞれの地域の行事にいつも区長が来られている。しっかり見ておられるし、行動されている。来ているだけでなく、施策に活かしていこうという姿勢が見てとれる。地域と東区役所が連携している。
- （区）参加させていただいて地域からいろんなことを教えていただいている。
- 最近気になることがある。家の前の4軒が空き家になっているので防犯上不安に思っている。
- まちづくりの観点から、空き家の問題はあるし、放置車両（廃車）や樹木管理の問題もある。この会議でも取り上げればよいような課題と思う。
- 50年ほどこの地で生活しているが、良いまちだと思う。
- 話が変わるが、地域の情報や行政情報を住民の皆さんに広報するために年に5回校区だよりを発行している。ただ、自治会に入らない人が増えていることに悩んでいる。自治会に入っていない人から校区だよりを求められるが、それに応えるとすると、自治会に入らなくてももらえるなら退会を考えるという人も出てきて困っている。
- 地域の見守り活動（こどもの安全見守り隊）をしているが、交通事故を危惧している。校区の安全マップも年1回発行しているが、学校の前にもかかわらず、スピードを出して通過したり抜け道として通過したりしている。地域の人に事故発生の危険性を知ってもらいたい。
- 成人式（東区二十歳の集い）のお手伝いをしている。参加される皆さんは非常におとなしいし素直だと思っている。地域柄かなと思う。
- 地域みんなで住んでみたい、住み続けたいという魅力を構築することと思うが、新しく来られた方も魅力を享受するだけではなく作る側になってもらえればと思う。
- そうは思うが難しいことと思う。というのも皆さん忙しい。施策を立てること自体は簡単だが、ではそれを実施する役の人がいるのかというのが大きな問題だ。まずは、想いを共有すること、人のつながりを作ることが大切と思う。
- （座）本日、事務局から提案されたこの骨子案を進めて東区の施策としていくので、これからは忌憚のないご意見を事務局に寄せてもらえればと思う。本日の議題については引き続き作業を進めていただくことで了承いただけるか。ただ、寄せられた意見をすべて受け入れるというわけにはいかないので、事務局で精査しながら進めていくということでよいか。

【全員、了承】

- （座）事務局から、テーマ別会議「ひがし文活」の「こども絵画展」について進捗の報告をしていただく。
- （事）この度の応募作品は297点で9校区すべてから応募いただいた。駅への展示は白鷺駅の2月14日をはじめとして順次進めていく。展示日程についてはホームページで公表する。

3 閉会